



# 信毎こども記者ニュース

発行/  
連絡先

こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.68



## すごいぞカイコ

宮沢哲彦 記者(松本市5年)

山下先生は、人は100年後、火星を探検するために火星でくらすかもしれないと言っていました。そして、その時には火星でカイコを飼い、さなぎを食べると話してくれました。

なぜかというと、さなぎを食べると人間に必要な動



## 山下さん、一生懸命研究してる

中川翔太 記者(岡谷市6年)

ぼくは山下さんの話を聞いて、「山下さんは火星の生物を調べるために、一生懸命研究しているんだな」と思いました。

山下さんは、火星にバクテリアを探しに行きたいそうです。火星には水、メタン、酸化鉄があり、生命が存在していてもおかしくな

いーということを話してくれました。

火星を探検するしたら、カイコのさなぎやドジョウを食べる計画だそうです。カイコのクッキーは、ぼくは少し苦手だったんだけど、こうして動物性の脂をとることで病気の予防になるんだなあと思いました。



雅道さん(66)を講師に、岡谷市でカイコのさなぎを使ったクッキーを作りました。



## 宇宙にカイコを連れていく?

2015年はファーブル昆虫記で知られるアンリ・ファーブル(1823~1915年)が亡くなつて100年。ということで、1月1日の「新春信毎こども新聞」では、虫が主役のニュースをしようかいしました。虫をテーマにしたこども記者の取材では、発見やおどろきがたくさん! 今回の信毎こども記者ニュースでは、お正月の紙面でのせきれなかつた内容を特集します。



宇宙ステーションで食事の準備をする若田  
宇宙飛行士ら (提供: JAXA/NASA)

## 宇宙クッキング

菊原心粋 記者(飯田市4年)

宇宙ステーションの台所の写真を見たら、ふつうの家とちがつて物置き場のようでした。

食べ物同士をまぜる時は、ふくろの中でまぜます。なぜかというと、無重力なのでふつうにまぜようすると物がういてしまうからです。そのふくろなどにマジックテープがついていて、作業台にひつつくようになっ

ています。なんでもかんでもどこかにひつづけてあかないと、ういてしまいます。私はそれがおもしろいと思いました。

私たちが作ったカイコのクッキーは、なんともいえない味がしました。本当に宇宙で食べることになったら、地球上で食べられない宇宙でも食べられないと思いました。



## もっと知りたい、宇宙のこと

辛広輝 記者(岡谷市4年)

山下さんに、宇宙のこといろいろ教えてもらいました。

山下さんは、火星に昔、水が流れていたと考えられているーと教えてくれました。そしてバクテリアが火星に住んでいるかもしれませんと言っていました。また、宇宙ステーションでは、あ

しつこはきれいにして飲んでいて、うんちは捨てるそうです。ぼくは「きたない!」と思ったけれど、山下さんは、捨てても燃えつきると言っていました。

ぼくは、もっともっと宇宙のことを知りたくなりました。

